

令和8年度 東京都立戸山高等学校 推薦に基づく選抜 小論文

注 意

- 1 問題は と で、4 ページにわたって印刷してあります。
- 2 と の答えは、それぞれの解答用紙に答えなさい。
- 3 検査時間は 50 分で、終わりは 12 時 40 分です。
- 4 声を出して読むではいけません。
- 5 答えはすべて解答欄に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 6 答えは問題の指示に従って書きなさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 8 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 9 文頭は 1 マス空けないこと。
- 10 句読点および「」などは 1 字に数え 1 マスに書きなさい。
なお、数字および小数点は 2 つで 1 字として 1 マスに書きなさい。

1

生徒 a, 生徒 b, 生徒 c は, 2025 年 10 月に日本で初めて女性の総理大臣が誕生したこともあり, 投票のあり方について関心を持った。そこで, 投票のあり方を「公民」の授業の調査課題に設定し, 調べる内容について次のように話し合っている。これに関して, 次のページのメモと表 1～3 を参考にあとの問いに答えなさい。

生徒 a: メモのような架空の自治体で, 争点が 3 つある選挙が行われるとして, その問題点について話し合いをしていたところなんだ。

生徒 b: 候補者 X と候補者 Y の政策を表 1 にまとめてみたよ。

生徒 c: なるほど。それぞれの政策については, 別々の主張をしているから, 投票する候補者を選びやすい選挙と言えるね。

生徒 a: うん。そして, 有権者 5 人の支持する政策などをまとめたものが表 2 だよ。

生徒 b: すべての有権者が, それぞれの争点について同じだけ重要と考えているとすると, 誰に投票するのもかも決まってくるんだ。

生徒 a: すると当選者は誰になるかな。

生徒 c:

生徒 b: そうなんだ。そこがこの選挙の問題点だと気づいて, その解決策についても話し合っていたんだ。

生徒 c: それは, 簡単だよ。政策別に国民投票を行えばいいんだよ。

生徒 a: うん, やっぱりそう思うよね。ただ, 政策別に国民投票を行うというアイデアにも課題はあって, それを表 3 にまとめているところなんだよね。

問 1 会話文の趣旨を踏まえて, にあてはまる生徒 c の発言を 40 字以上 60 字以内で補いなさい。

問 2 会話文中の下線部について, 表 3 の①～③で, あなたが, 政策別に国民投票を行うことの最も重要な課題だと考えるものはどれか, ①～③から選んで番号を書きなさい。また, ④の例を参考に, その項目の具体的な内容 (①を選んだ場合は に当てはまる内容, ②を選んだ場合は に当てはまる内容, ③を選んだ場合は に当てはまる内容) を 80 字以上 100 字以内で書きなさい。

メモ

- ・架空の自治体における首長選挙
- ・候補者はXとYの2人，彼らはこの選挙においては投票しない
- ・有権者はA, B, C, D, Eの5人，自分が支持する政策が多い候補者に投票する
- ・選挙の争点は，税金，少子化対策，年金制度についての3つ
- ・政策はそれぞれ自治体独自のもの

表1 候補者の政策一覧

	税金	少子化	年金制度
候補者 X	減税して景気回復をめざす	子育て世代への支援を手厚くし，多子世帯の生活の安定をめざす	年金の支給年齢を引き上げ，高齢者の就労促進をめざす
候補者 Y	増税して財政の健全化をめざす	若者へ支援を手厚くし，結婚・出産のハードルを下げる	年金の支給年齢は現状維持し，制度の公平性を担保する

表2 有権者A～Eの支持する政策と政策別多数決の結果

	税金	少子化	年金制度
有権者 A	減税	若者への支援	支給年齢引き上げ
有権者 B	増税	若者への支援	現状維持
有権者 C	増税	子育て世代への支援	支給年齢引き上げ
有権者 D	減税	子育て世代への支援	現状維持
有権者 E	増税	若者への支援	現状維持
多数決の結果	増税	若者への支援	現状維持

表3 政策別に国民投票を行うことの課題として考えられること

①有権者の情報不均衡・判断能力の問題 具体的内容→ <input type="text" value="ろ"/>
②多大なコスト・再実施の制限 具体的内容→ <input type="text" value="は"/>
③国民投票の日程操作・国民投票の政治的利用 具体的内容→ <input type="text" value="に"/>
④低投票率・正当性に対する疑い 具体的内容→国民投票での投票率が低いと，「国民の意思を問うた」との主張が薄れる。また，投票率が議会選挙よりも低くなることも考えられる。

2

Aさんは、リンゴから放出されるエチレンという気体が、ダイコンの成長に影響を及ぼすかどうかを確認するための実験を行った。

1. ペトリ皿を2枚用意し、ろ紙を置いてダイコンの種子をそれぞれのペトリ皿に1粒ずつ置き、水を与えて暗所で発芽させた。
2. 発芽した種子を入れたペトリ皿を、同じ容積の別の水槽にそれぞれ入れ、一方にのみ十分成熟したリンゴの果実を1個入れた。それぞれの水槽の上部を、ラップフィルムで覆い、密封した(図1)。
3. 2つの水槽を同じ温度、湿度、光条件下に3日間置いた。3日後、発芽した種子を観察し、胚軸(図2)の長さや太さを測定したところ、表1の結果が得られた。

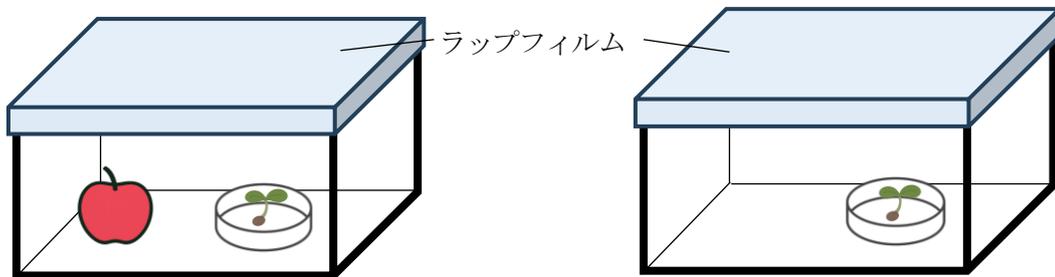


図1 実験の様子

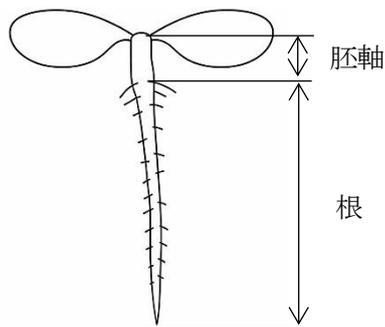


図2 胚軸の様子

表1 3日後の胚軸の長さとおさ

	リンゴあり	リンゴなし
長さ [mm]	19.6	68.7
太さ [mm]	2.2	1.5

この実験から Aさんは、「十分成熟したリンゴから放出されているエチレンという気体は、ダイコンの胚軸の成長に影響を及ぼし、胚軸の伸長成長を抑制し、肥大成長を促進する。」と結論を出した。

問1 Aさんの実験には、この結論を出すにはいくつか不十分な点がある。それらの不十分な点の中から2点挙げ、それぞれどのように改善すればよいか改善方法を説明しなさい。なお、不十分な点と改善方法は、それぞれ20字以上40字以内で書きなさい。

問2 ある架空の植物には、正常個体の他に2種類の変異体があるとする。正常個体は自身でエチレンを合成し、エチレンに反応することで胚軸が太くなる。変異体1は植物体内でエチレンをほとんど合成できないので、通常の状態では正常個体に比べて胚軸が太くならない。変異体2はエチレンを合成はできるが、エチレンにまったく反応できないので、通常の状態では正常個体に比べて胚軸が太くならない(表2)。

変異体1と変異体2を判別するため、これらの変異体にリンゴから得たエチレンを与えて胚軸の太さを調べた。エチレンを合成できない変異体1と、エチレンに反応できない変異体2のそれぞれについて予想される結果を20字以上40字以内で説明しなさい。なお、各変異体はエチレンの合成あるいは反応性のどちらか一方にのみ異常があるものとする。

表2 架空の植物におけるエチレンの合成とエチレンへの反応性

	エチレンの合成	エチレンへの反応	胚軸
正常個体	できる	できる	太くなる
変異体1	できない	できる	正常個体に比べて太くならない
変異体2	できる	できない	正常個体に比べて太くならない